

令和5度「文化芸術による子供育成推進事業 出演希望調書(実演芸術)」

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	音楽	種目	オーケストラ等
----	----	----	---------

申請区分(申請する区分を選択してください。)

申請区分	A区分のみ
------	-------

複数申請の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、申請企画数から除く

複数申請の有無	無	申請総企画数	
---------	---	--------	--

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	
--------------------	--

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	こうえきざいだんほうじん きゅうしゅうこうきょうがくだん			団体ウェブサイトURL
	公益財団法人 九州交響楽団			http://www.kyukyo.or.jp
代表者職・氏名	理事長 櫻井 文夫			
制作団体所在地	〒 814-0133	最寄り駅(バス停)	西鉄「荒江四角」バス停	
	福岡県福岡市城南区七隈一丁目11番50号 末永文化センター内			
電話番号	092-822-8855			
ふりがな 公演団体名	こうえきざいだんほうじん きゅうしゅうこうきょうがくだん			団体ウェブサイトURL
	公益財団法人 九州交響楽団			http://www.kyukyo.or.jp
代表者職・氏名	理事長 櫻井 文夫			
公演団体所在地	〒	制作団体に同じ	最寄り駅(バス停)	制作団体に同じ
	制作団体に同じ			
制作団体 設立年月	1953年(昭和28年)10月			
制作団体組織	役職員		団体構成員及び加入条件等	
	理事長 櫻井 文夫 副理事長 柴田 建哉(ほか2名) 専務理事 柴田 耕志 ほか理事3名、監事2名 評議員13名		楽団員 63名 事務局員 19名 (令和4年10月1日現在)	
事務体制 (専任担当の有無)	他の事業と兼任の事務担当者 を置く		本事業担当者名	事務局長/福田 智久
経理処理等の 監査担当の有無	有		経理責任者名	事務局長/福田 智久

<p>制作団体沿革</p>	<p>1953年創立。1973年に改組、のち財団法人化を経て2013年から「公益財団法人九州交響楽団」となり、九州一円の常設オーケストラとしてアジアの交流拠点都市“福岡”に本拠地を置く。 初代常任指揮者・石丸寛(現・永久名誉音楽監督)。その後、森正、安永武一郎(現・永久名誉指揮者)、フォルカー・レニック、黒岩英臣、小泉和裕、山下一史、大山平一郎、秋山和慶が歴任し、2013年からは小泉和裕が音楽監督を務める。また桂冠指揮者に秋山和慶、名誉客演指揮者に小林研一郎を擁する。 アクロス福岡での定期演奏会をはじめ、天神でクラシック、名曲・午後のオーケストラの自主公演の他、中学生の未来に贈るコンサート、青少年向けのコンサート、オペラやバレエ、合唱との共演、ポップス、映画音楽、ファミリーコンサートなど福岡県を中心に九州各地で年間約150回の演奏活動を行っている。 2006年から「九響シリーズ」9タイトル、小泉和裕が音楽監督就任後「ベルリオーズ／幻想交響曲」、「ベートーヴェン／交響曲第9番」、「マーラー／交響曲第8番《千人の交響曲》」、「マーラー／交響曲第3番」のCDを発売。これまでに、福岡市文化賞、西日本文化賞、文部大臣地域文化功労賞、福岡県文化賞を受賞。</p>				
<p>学校等における 公演実績</p>	<p>福岡県市町村振興協会「中学生の未来に贈るコンサート」 ・政令指定都市(福岡市・北九州市)を除く福岡県に住んでいる中学生を対象に、3年間で1クールとして中学校時代に一度は生のオーケストラ演奏を体験頂けるよう、2005年度(平成17年度)から開始し17年間にかけて約35万人の中学生が体験</p> <p>《実績》 ・2018年度 84校 約30千人 ・2019年度 54校 約24千人 ・2020年度 15校 約8千人 ・2021年度 76校 約24千人 ・2022年度 67校 約25千人【予定】</p>				
<p>特別支援学校等における公演実績</p>	<p>福岡県市町村振興協会「中学生の未来に贈るコンサート(室内楽公演)」 《実績》 ・2017年度 1校 (1公演) ・2018年度 2校 (2公演) ・2019年度 4校 (5公演) ・2020年度 開催なし〈新型コロナの為〉 ・2021年度 5校 (5公演)</p> <p>(直近) 福岡県立古賀特別支援学校 令和4年9月16日(金) 福岡県立福岡特別支援学校 令和4年9月20日(火) 福岡県立福岡特別支援学校 令和4年10月19日(水)～20日(木)【予定】 福岡県大牟田市立大牟田特別支援学校 令和4年11月24日(木)【予定】 福岡県立小倉聴覚特別支援学校 令和5年1月20日(金)【予定】</p>				
<p>参考資料の有無</p>	<p>申請する演目のWEB公開資料</p>	<p>無</p>			
	<p>※公開資料有の場合URL</p>				
	<p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<table border="1"> <tr> <td>ID:</td> <td></td> </tr> <tr> <td>PW:</td> <td></td> </tr> </table>	ID:		PW:
ID:					
PW:					

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 公益財団法人 九州交響楽団 】

対象	小学生(低学年)	○	
	小学生(中学年)	○	
	小学生(高学年)	○	
	中学生	○	
企画名	オーケストラで聴く音楽の色彩レシピ～喜びと哀しみ～		
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	<p>令和5年度文化芸術による子供育成推進事業－巡回公演事業－ 本公演実施計画書 制作団体名 公益財団法人 九州交響楽団 公演団体名 公益財団法人 九州交響楽団</p> <p>演目『オーケストラで聴く音楽の色彩レシピ～喜びと哀しみ～』 ♪＝児童生徒の共演参加曲目 1. オッフエンバック／喜歌劇「天国と地獄」より カンカン 2. [楽器紹介]山本和彦編 フォークダンスメドレーマイム(イスラエル民謡)～オクホマミキサー(アメリカ民謡)～ジェンカ(フィンランド民謡)3. アンダーソン／プリンク・ブランク・ブルンク 4. ベートーヴェン／交響曲第5番ハ短調「運命」から第1楽章 5. [指揮者体験]ビゼー／歌劇「カルメン」より前奏曲～♪※指揮体験後全曲を演奏 6. ボディパーカッションでオーケストラと共演 ♪ ※AまたはBから学校が選択 選択曲A・・・エルナンデス／エル・クンパンチェロ 選択曲B・・・ブラード／マンボno.5 ~~~~~休憩~~~~~ 7. ヨハン・シュトラウスⅡ／ワルツ「春の声」 8. ヨゼフ・シュトラウス／ポルカ「憂いもなく」 9. シベリウス／悲しきワルツ 10. ドヴォルザーク／序曲「謝肉祭」 E.C. i オークストラの演奏で校歌を合唱 ♪ ii ヨハン・シュトラウス1世／ラデツキー行進曲 ♪ ♪＝共演参加曲目 公演時間：90分(休憩含む)</p>		
著作権、上演権利等の 許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続きの要否	該当なし	該当コンテンツ名
	該当事項がある場合	権利者名	許諾確認状況
演目概要	「カンカン」のオープニングでは手拍子で参加、世界の民謡を九響オリジナル編曲で楽器紹介、弦楽器の特徴的なピチカート奏法を用いた「プリンク・ブランク・ブルンク」を聴いた後は、「運命」で交響曲の醍醐味を味わってもらおう。参加型プログラムとしてプロ・オーケストラの指揮を体験し、その他ボディパーカッションでオーケストラと演奏を共演。後半は「喜」を表現したワルツとポルカ、そして対照的に「哀」を感じる「悲しきワルツ」の演奏後に、陽気でお祭り気分いっぱいの「謝肉祭」で華々しく楽しく終了。アンコールでは、オーケストラ編曲版の伴奏で校歌を歌い、ラデツキー行進曲で再び手拍子での参加。聴く以外にも体験、参加を盛り込んだプログラム。		
演目選択理由	様々な感情を持つ人間＝作曲家が創作する音楽には、色彩豊かな表情があります。「喜び」や「楽しみ」といった陽気な感情のほかにも「哀しみ」もあるでしょう。音楽の世界では古今東西多くの作曲家たちがその感情を精魂傾けて音で表しました。馴染みやすいオーケストラ作品の他にも、なかなか聴く機会の少ない楽曲で音楽の楽しみ方を“色彩レシピ”として児童生徒たちと共有したいと考えます。またワークショップでは、「本公演を100倍楽しむ！」ために“音”や“音楽の三大要素”を説明した上で、本事業のテーマである「音楽の色彩レシピ」として様々な表情を持つ曲を紹介や演奏することで、曲の背景を想像しながら聴いてもらい、本公演のプログラムのイメージを膨らませてもらいたいと思います。共演曲は、感情の色彩の1つである「楽」を取り上げ、音楽によって体現できるラテン曲を、ボディパーカッション(ワークショップで指導)でプロのオーケストラの演奏に参加してもらいます。		
児童・生徒の共演、参加又は体験の形態	【指揮体験】 ワークショップ参加者全員に指導し、本公演ではその中から学校により事前に選抜した数名が参加 【ボディパーカッション共演】 ボディパーカッションで生徒全員がオーケストラと共演 【合唱共演】 校歌をオーケストラ演奏用に編曲しアンコールで合唱		
出演者	・指揮＝碓山隆一郎 ・司会・進行＝西 けいこ ・管弦楽＝九州交響楽団 フルート：3名、オーボエ：3名、クラリネット：2名、ファゴット：2名 ホルン：4名、トランペット：3名、トロンボーン：3名、チューバ：1名 ティンパニ：1名、打楽器：4名、ハープ：1名 第一ヴァイオリン：10名、第二ヴァイオリン：8名 ヴィオラ：6名、チェロ：5名、コントラバス：4名予定 ※「出演予定メンバー表」は別途提出		
本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数含む	出演者： 60 名 スタッフ： 10 名 合計： 70 名	運搬	積載量： 4 t 車長： 8.5 m 台数： 1 台

本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール) の目安	前日仕込み		無	前日仕込み所要時間		—	時間程度
	到着	仕込み		上演	内休憩	撤去	退出
	8時	8時～10時		14時～15時半	15分	15時半 ～16時半	17時

※本公演時間の目安は、午後、概ね2時限分程度です。

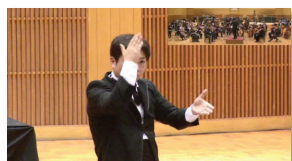
本公演 実施可能日数目安 ※実施可能時期については、採択決定後に確認します。(大幅な変更は認められません)	6月	7月	8月	9月	10月	
	0日	0日	0日	0日	7日	
	11月	12月	1月	計	12日	
	5日	0日	0日			

※平日の実施可能日数目安をご記載ください。

児童・生徒の 参加可能人数	本公演	共演人数目安	体育館に収容可能人員であれば制限無
		鑑賞人数目安	体育館に収容可能人員であれば制限無

公演に係るビジュアルイメージ
(舞台の規模や演出や
がわかる写真)

※採択決定後、採
択団体へ図面等詳
細の提出をお願い
します。



※指揮お手本DVD



※ワークショップ世界の名曲を鑑賞



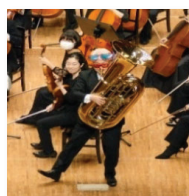
※指揮者による指揮指導



※ワークショップ打楽器で共演



※オーケストラの伴奏で校歌合唱



※世界の民謡にのせて楽器紹介



※オーケストラの指揮体験

【公演団体名 公益財団法人 九州交響楽団 】

児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	体育館に収容可能人員であれば制限無
ワークショップ実施形態及び内容	<p>【鑑賞指導】</p> <p>1.『ドレミの“いろは”』 “ドレミの歌”を使って、「音の構成(知識面)」や半音や調性などの「音の特徴(知覚面)」を説明し、「本公演を100倍楽しむ！」ための『聴き方』を学ぶ。</p> <p>2.『音楽の三大要素』 これを知ると、クラシックのみならずポップスや童謡・唱歌まで音楽がおもしろくなる！ ①「メロディ」・・・クラシックのみならずポップスや童謡・唱歌まであらゆるジャンルの音楽に共通する「ソドレミの法則」を説明し、「ソドレミ」で始まる曲を演奏する。 ②「ハーモニー」・・・長調と短調の特徴や違いを説明し演奏することで、その曲が持つ“カラー”を感じてもらおう。例えば、短調曲のベートーヴェン／交響曲第5番「運命」を長調で演奏、同じメロディに短調のハーモニー、長調のハーモニーをつけて演奏する。 ③「リズム」・・・指揮体験やボディパーカッション共演の練習を通して、様々な拍子やリズムを説明する。</p> <p>【実技指導】</p> <p>1.『指揮体験』練習 当楽団オリジナル収録の「練習用映像」を見ながら拍子やリズムを説明し、ピアノと弦楽器等を指揮して指揮練習する。「お手本DVD」を実施校へ貸与し、本公演までの練習の教材としてもらう。</p> <p>2.『ボディパーカッション共演』練習 本公演に向けて、ボディパーカッションを通してリズムを体現する方法を指導する。 ワークショップでは選択曲2曲を練習し、その中から本公演での共演曲を学校に選択してもらう。音楽の感情を自由な発想やアドリブ的な演奏で児童生徒の想像力を育て、継続してグループ練習を行うことで団結や、リズムの種類や叩き方の違いを感じることで協調性やコミュニケーション能力を身に付けてもらう。 ※ワークショップ実施内容の詳細は、別添をご参照ください。</p>		
ワークショップのねらい	<p>これまでクラシック音楽、生のオーケストラに直接触れる機会が少なかった児童たちに、直接プロの演奏家が興味を持ってもらえるように楽しく鑑賞指導する。「本公演を100倍楽しむ！」ために、“音”や“音楽の三大要素”を説明した上で、本事業のテーマである「音楽の色彩レンビ」を、様々な表情を持つ曲を紹介や演奏することで、曲の背景を想像しながら聴いてもらい、分かりやすく解説し想像力を高めてもらう。 また、あらゆるジャンルの「ソドレミ」で始まる曲でメロディのおもしろさや、長調曲の短調演奏でハーモニーの不思議を感じてもらおう。 実技指導では、「指揮体験お手本DVD」や「校歌合唱練習用CD」を活用した共演練習により本公演でその成果を十分に発揮し、プロオーケストラとの共演という貴重な体験を充実したものにするための指導をする。 「ボディパーカッション」では、リズムの刻み方、体の一部を使ってより身近に音楽を感じてもらいながら、興味を持ってもらうと共に、グループ練習を行う中でチームワークの重要性を体感し協調性やコミュニケーション能力を身に付けてもらう。</p>		
その他ワークショップに関する特記事項等	<ol style="list-style-type: none"> 1. ワorkshop実施前に実施校を訪問し、児童生徒の状況を把握する。 2. 過去の公演映像を参考に当楽団の企画意図や公演内容、児童生徒参加プログラムを詳細に説明し学校の協力を得る。 3. その上で、演奏曲目の変更や演奏時間の短縮も視野に入れ、必要に応じてプログラムや共演参加について学校と協議する。 4. 共演プログラムに無理がないか、どの様な形であれば参加が可能か等、児童生徒の状況や学校の要望に沿った公演が実施できるよう工夫する。 5. 入退場時間や休憩時間などタイムスケジュールに余裕を持つ。 6. 鑑賞中の離席や声など想定される点を事前にオーケストラへ説明し、スタッフで情報を共有する。 		

リンク先	No.3	【公演団体名 公益財団法人 九州交響楽団 】
<p>項目内容ワークショップ 実施形態及び内容</p>	<p>【鑑賞指導】 1.『ドレミの“いろは”』 “ドレミの歌”を使って、「音の構成(知識面)」や半音や調整などの「音の特徴(知覚面)」を説明し、「本公演を100倍楽しむ！」ための『聴き方』を学ぶ。 2.『音楽の三大要素』 これを知ると、クラシックのみならずポップスや童謡・唱歌まで音楽がおもしろくなる！ ①「メロディ」・・・クラシックのみならずポップスや童謡・唱歌まであらゆるジャンルの音楽に共通する「ソドレミの法則」を説明し、「ソドレミ」で始まる曲を演奏する。 ②「ハーモニー」・・・長調と短調の特徴や違いを説明し演奏することで、その曲が持つ“カラー”を感じてもらう。例えば、短調曲のベートーヴェン／交響曲第5番「運命」を長調で演奏する。 ③「リズム」・・・指揮体験やボディパーカッション共演の練習を通して、様々な拍子やリズムを説明する。</p> <p>【実技指導】 1.『指揮体験』練習 当楽団オリジナルの「練習用映像」を見ながら拍子やリズムを説明し、ピアノと弦楽器等を指揮して指揮練習する。「お手本DVD」を実施校へ貸与し、本公演までの練習の教材としてもらう。</p> <p>2.『ボディパーカッション共演』練習 本公演に向けて、ボディパーカッションを通してリズムを刻む方法を指導する。 ワークショップでは選択曲2曲を練習し、その中から本公演での共演曲を学校に選択してもらう。基本に囚われすぎない自由な発想やアドリブ的な演奏で児童生徒の想像力を育て、継続してグループ練習を行うことで団結や、リズムの種類や叩き方の違いを感じることで協調性やコミュニケーション能力を身に付けてもらう。</p>	



令和5年度「文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－

公益財団法人九州交響楽団



当楽団は企画にテーマを掲げ、企画意図を明確にし、ワークショップから本公演まで一貫性のあるテーマでプログラムを構成します。

理解しながら名曲を聴くことができるよう、分割演奏や楽器紹介、作曲家や作品の時代背景を分かりやすく説明したナレーションを交え、児童生徒の芸術鑑賞能力の向上に繋がります。

『企画名・本公演メインプログラム』

令和元年度 『体感オーケストラ!』 ～ 拍子とリズムをマスターしよう ～

ストラヴィンスキー／バレエ組曲「火の鳥」(1919年版)

令和2年度 『踊る!大管弦楽団』 ～ 踊りを通して世界の文化にふれよう ～

ファリャ／バレエ音楽「三角帽子」 ※新型コロナウイルス感染予防のためプログラム変更

令和3年度 『情景描写』 ～ 情景を心に浮かべ、想像しながら聴いてみましょう ～

グリーグ／音楽物語「ペール・ギュント」

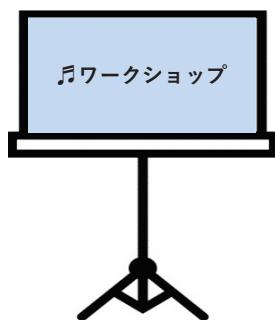
令和4年度 ～ 踊りの音楽を通して世界の文化に触れよう ～

バーンスタイン／「ウェスト・サイド・ストーリー」セレクション

令和5年度「文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－」
テーマ：オーケストラで聴く音楽の色彩レシピ～喜びと哀しみ～

< 鑑賞指導 >

「本公演を100倍楽しむ！」ための『聴き方』を学びます。



※世界の舞曲を鑑賞

- ・『ドレミのいろは』 “ドレミの歌”を使って「音の構成（知識面）」や、半音・調性などの「音の特徴（知覚面）」を説明します。
- ・『音楽の三大要素』 コレを知ると色々なジャンルの音楽が楽しくなります！「メロディ」、「ハーモニー」、「リズム」が合わさっていることを分かりやすく説明し、演奏でそれらを感じてもらいます。「ソドレミの法則」の説明や、短調曲の長調演奏で曲が持つ“特徴”や“カラー”を感じてもらいます。
- ・ 様々な感情を持つ人間＝作曲家は様々な感情を音で表しました。その表情豊かな音楽を馴染みやすい作品や聴く機会の少ない楽曲を聴き、音楽の楽しみ方を“色彩レシピ”として児童生徒たちと共有いたしましょう。



< 実技指導 >

プロオーケストラとの共演という貴重な体験を充実したものにします。

『指揮指導』

- ・「お手本DVD」を観て拍子やリズムを説明し、指揮体験のイメージを持ってもらいます。
- ・ピアノ伴奏や「お手本DVD」に合わせて指揮指導を行います。
- ・「お手本DVD」を実施校へ貸与し、オーケストラを指揮する練習を進めてもらいます。

『ボディパーカッションでオーケストラと共演』

- ・基本的なリズムの種類や叩き方を指導します。
- ・本公演での共演に向け練習を進めてもらいます。



※指揮お手本DVD



※打楽器で共演



指揮 = 碓山 隆一郎



鹿児島県喜界島出身

司会・進行 = 西 けいこ



長崎県長崎市出身

管弦楽 = 九州交響楽団



<プログラム>

1. オフエンバック／喜歌劇「天国と地獄」より カンカン

「フレンチカンカン」と呼ばれるフランスの速いテンポの踊りで、手拍子で参加し華やかなオープニングで始まる。

2. 楽器紹介

山本和彦編 フォークダンスメドレー

(オーケストラで使用する楽器やその特徴を紹介する当楽団オリジナル作品)

マイムマイム (イスラエル民謡) ～オクホマキサー (アメリカ民謡) ～ジェンカ (フィンランド民謡)

3. アンダーソン／プリנק・プランク・プルンク

理屈抜きに楽しい作品、弦楽器が弓を使わず指で弾く奏法“ピチカート”でウキウキ感を演出します。普段は行方ないユーモラスな奏法にもご注目あれ！

4. ベートーヴェン／交響曲第5番ハ短調「運命」から第1楽章

ベートーヴェンは作曲家にとって致命的ともいえる耳の病気に侵されました。この作品からは病気に対しての怒り苦しみ、そしてそれを乗り越えようとする不屈の精神が感じとれます。

5. 指揮者体験コーナー ♪

※指揮体験後、全曲を演奏

ビゼー／歌劇「カルメン」より 前奏曲

軽快なテンポと勇壮な響きが特徴で、数ある歌劇の中でも最も有名な「カルメン」の冒頭に演奏される作品



※指揮者による指揮指導



※オーケストラの指揮体験

6. ボディパーカッションでオーケストラと共演 ♪ ※AまたはBから学校が選択

選択曲A…エルナンデス／エル・クンバンチェロ

選択曲B…プラード／マンボ no.5

7. ヨハン・シュトラウスⅡ世／ワルツ「春の声」

ワルツ王、ヨハン・シュトラウスⅡ世の代表的なワルツ。

長い冬が過ぎて春を迎える喜び、幸福感に満ちた作品。

8. ヨゼフ・シュトラウス／ポルカ「憂いもなく」

タイトル通り明るく楽しく陽気な曲。曲途中では笑い声も入るかも…

9. シベリウス／悲しきワルツ

フィンランドの作曲家、シベリウスによる悲哀に満ちた雰囲気作品。

暗いストーリーに基づいて作曲されました。

10. ドヴォルザーク／序曲「謝肉祭」

陽気なお祭り騒ぎが賑やかに表現されます。中間部分では穏やかで牧歌的な雰囲気になり喜びに溢れた賑やかな部分との対比も見事なドヴォルザークの傑作です。

E.C.オーケストラの演奏で校歌合唱 ほか ♪



※オーケストラの伴奏で校歌合唱

♪=生徒共演プログラム



令和5年度「文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－」

制作団体名：公益財団法人九州交響楽団



出演予定メンバー



指揮=碓山 隆一郎

司会・進行=西 けいこ



コンサートマスター *Concertmasters*



桂冠コンサートマスター
豊嶋泰嗣
Yasushi Toyoshima



ソロコンサートマスター
扇谷泰朋
Yasutomo Ogitani



コンサートマスター
西本幸弘
Yukihiro Nishimoto



アシエートコンサートマスター
原 雅道
Masamichi Hara

第1ヴァイオリン *1st Violins*



飯田拓斗
Takuto Iida



大山佳織
Kaori Oyama



小田葉月
Hazuki Oda



齋藤羽奈子
Hanako Saito



佐藤仁美
Hitomi Sato



樽見かおり
Kaori Tarumi



葉石真衣
Mai Haishi



本村朋子
Tomoko Motomura



李 軍
Jun Li

第2ヴァイオリン *2nd Violins*



荒川友美子
Yumiko Arakawa



小野本福子
Fukuko Onomoto



榊 裕子
Yuko Sakaki



貞国みどり
Midori Sadakuni



佐藤美和
Miwa Sato



竹下芳乃
Yoshino Takeshita



永田由美
Yumi Nagata



南 奈菜
Nana Minami



○山下大樹
Hiroki Yamashita

ヴィオラ *Violas*



黒川律子
Ritsuko Kurokawa



猿渡友美恵
Yumie Saruwatari



田邊元和
Motokazu Tanabe



橋本和樹
Kazuki Hashimoto



○細川 泉
Izumi Hosokawa



矢島千愛
Chiai Yajima



ブライアン・ルー
Bryan Lew

チェロ *Cellos*



飯塚雅史
Masafumi Iitsuka



清水潔子
Kiyoko Shimizu



鈴木 淳
Atsushi Suzuki



宮田浩久
Hirohisa Miyata



○山本直輝
Naoki Yamamoto

コントラバス *Contrabasses*



浅野宏樹
Hiroki Asano



井上貴裕
Takahiro Inoue



竹本規矩也
Kikuya Takemoto



皆川直輝
Naoki Minagawa



山本和彦
Kazuhiko Yamamoto

フルート *Flutes*



○大村友樹
Yuki Omura



八木ちはる
Chiharu Yagi



山下浩二
Koji Yamashita



小林 牧
Maki Kobayashi



○佐藤太一
Taichi Sato



徳山奈美
Nami Tokuyama

オーボエ *Oboes*

クラリネット *Clarinets*



荒木こずえ
Kozue Araki



○宇根康一郎
Koichiro Une



松本 努
Tsutomu Matsumoto



草野雅行
Masayuki Kusano



埜口浩之
Hiroyuki Noguchi

ファゴット *Bassoons*

ホルン *Horns*



岡本秀樹
Hideki Okamoto



木村睦美
Mutsumi Kimura



佐々木悠子
Yuko Sasaki



瀬尾達也
Tatsuya Seo



林 伸行
Nobuyuki Hayashi

トランペット *Trumpets*



小野本明弘
Akihiro Onomoto



○松居洋輔
Yosuke Matsui

トロンボーン *Trombones*



○高井郁花
Ayaka Takai



山下秀樹
Hideki Yamashita



古荘恭英
Takahide Furusho

バス・トロンボーン *Bass Trombone*

チューバ *Tuba*



鈴木浩二
Koji Suzuki

ティンパニ&パーカッション *Timpani & Percussion*



伊藤拓也
Takuya Ito



黒川英之
Hideyuki Kurokawa



○森 洋太
Yota Mori



吉永優香
Yuka Yoshinaga

インスペクター

田邊元和
黒川英之

ステージマネージャー

木口龍之介

ライブラリアン

柳堂涼香

<○ = 首席>